

2023年8月4日
株式会社 竹中工務店

「BYAKU Narai」開業2周年を迎える2023年8月4日に 2棟の歴史的建造物を新たに改修し、増床リニューアルオープン ～重要伝統的建造物群保存地区における古民家活用プロジェクト～

竹中工務店（社長：佐々木正人）は、重要伝統的建造物群保存地区[※]である長野県塩尻市奈良井（以下、奈良井宿）において、全国各地で地域の課題解決に取り組む株式会社47PLANNING（本社：福島県いわき市、代表取締役：鈴木賢治）と共同で、小規模複合施設の計画・開発を推進しています。

2021年8月の開業に続くプロジェクト第2弾として、8月4日、2棟の古民家を改修・活用した宿泊施設「BYAKU Narai（ビャクナライ）」が増床リニューアルオープンします。このたび開業する2棟の宿泊施設の計画・開発は竹中工務店、47PLANNING、設計はFumihiko Sano Studio、施工は株式会社野田建設、有限会社尾崎建築となります。

当社は、長野県塩尻市と2020年1月に持続可能な社会づくりや地域課題の解決に寄与・貢献することを目的とした「連携協定」を締結しています。連携事項の一つには「歴史的建物資源や文化資源の活用等に関すること」を掲げており、その実現に向けた一環として、2021年8月に小規模複合施設を開業しています。

このたび、新たな宿泊施設として開業したのは、「BYAKU Narai」の近傍の古民家2棟を新たに改修したもので、ゆったりと部屋食スタイルで寛げる「島茂屋（シマモヤ）」（3部屋）と、プライベートサウナ付きの一棟貸し古民家「かね上屋（カネカミヤ）」（1部屋）です。



（写真：島茂屋）



（写真：かね上屋）

なお、事業主体は、2021年8月に開業した施設と同様に、地域の森林資源の利活用を進める一般社団法人塩尻市森林公社、および同公社と当社が出資し設立した「株式会社ソルトターミナル」です。本プロジェクトの企画プロデュースは47PLANNINGが担当し、同社が設立した新会社「株式会社奈良井まちやど」が開業後の宿泊施設・レストラン等の運営を行います。複数の古民家を利活用し、建築物の営み・歴史が継承された空間、地域独自の文化資源を活用したサービス、奈良井宿ならではの価値が体感できる施設をつくることを目指しています。

■新たに開業する 2 棟の施設概要

・島茂屋

築 150 年を越える類稀な大きさの土蔵が目を引く島茂屋は、小白木問屋として財を成し「島茂材木店」や「奈良井合同運送」など時代に則した様々な事業を興しただけでなく、代々檜川村議員を務め地域経済の発展に尽力した名家の住居でした。広い中庭から山の木々を近くに感じることができるこの場所は、近年「三澤漆器店」として、訪れる人々に木曽漆器の魅力を伝えてきました。

所在地：長野県塩尻市奈良井 581

敷地面積：298.85 m²

改修設計：Fumihiko Sano Studio

施工：株式会社野田建設

用途：ホテル、ラウンジ



・かね上屋

江戸時代から寺の参道脇に存するかね上屋は、時に住職、時に僧官と、寺関係者が代わる代わる暮らしていた寺前でした。間口 2 間、奥行 6 間の居住空間は、奈良井宿下町の伝統的家屋として特定物件に指定されています。

所在地：長野県塩尻市奈良井 664

敷地面積：57.05 m²

改修設計：Fumihiko Sano Studio

施工：有限会社尾崎建築

用途：ホテル



※昭和 50 年の文化財保護法の改正によって伝統的建造物群保存地区の制度が発足し、城下町、宿場町、門前町など全国各地に残る歴史的な集落・町並みの保存が図られるようになりました。市町村は、伝統的建造物群保存地区を決定し、地区内の保存事業を計画的に進めるため、保存条例に基づき保存活用計画を定めます。国は市町村からの申出を受けて、我が国にとって価値が高いと判断したものを重要伝統的建造物群保存地区に選定します。令和 3 年 8 月 2 日現在、重要伝統的建造物群保存地区は、104 市町村で 126 地区（合計面積約 4,023.9ha）あり、約 30,000 件の伝統的建造物及び環境物件が特定され保護されています

■株式会社 47PLANNING について

本社：〒970-8026 福島県いわき市平字白銀町 2-10

代表者：代表取締役 鈴木 賢治

設立：2009 年 6 月

事業内容：店舗・商業施設の開発及び運営・テナント招致、飲食店の運営及びフランチャイズ
ジニング業務、地方自治体のコンサルティング業務など